

スマホアプリで 発見率アップ

行方不明の高齢者

スマートフォンアプリを使い、行方不明となった認知症高齢者を検索するシステムの社会実験が、草津市内であった。アプリを使用する組と使用しない組を比較すると発見率が大きく上回った。担当者は「今後は地域みんなで不明者を見つける仕組みをつくっていったら」と手応えを感じている。



スマートフォンアプリを使った検索システムの実証実験現場。スマホから得られた不明者の位置情報を、捜索者に電話で伝えていた。草津市草津で

アプリを開発したの 径四十五以内付近に近づくと、制限時間一時間の検索は栗東市のIT関連会社とアプリが自動感知 中で、情報なしのチーム「ナスカ」。実験で、高齢者がいた場所ムは二組が徘徊者役の高齢者が徘徊し、行 関係者に知らせる。捜索 一人を見つけたのにと方不明になったと想 索者は、その位置情報のチームは全四組が男定。市も協力した。 を元に場所を絞って捜 女両方を発見できた。 システムの仕組み 索できる利点がある。 実験後の講評で情報 は、行方不明となった 実験はアプリの情報 なく捜索した男性は、 高齢者の親族らがアプ を電話で伝える組と、 「今回はエリアが限定 リなどを使い捜索の依 情報を伝えずにやみく されていたが、実際は 頼を出すと、アプリを もに探してももう組の そろはいかない。情報 にも周知していきたく 各四組八人ずつで構 がないと、心が折れそ

く。小型発信機を付けた徘徊者が住民から半

栗東の会社開発 草津で社会実験

甲賀市水口 甲賀で 意見発表会 若手消 意見発表 甲賀市水口 甲賀で 意見発表会 若手消 意見発表



金縛り体験は、眠りかけや目覚めの直前にみられ、自覚的には「覚醒しているが、手足・胸・頭部を動かすことができない状態」です。

お元気ですか

◇1389◇

金縛り体験 睡眠障害の一つ

症状として①動けない②しゃべれない③不安感や恐怖感を伴う④胸の上に何かに乗っている感覚がする⑤誰かがいるような気配を感じる⑥感覚・視覚・触覚に関する幻覚症状などがあります。これらは睡眠随伴症と呼ばれるもので、睡眠や覚醒そのものの異常ではなく、睡眠中に起こる望ましくない身体現象のことをいいます。金縛り以外に夢遊病、歯ぎしり、夜驚症などがあります。



縛りに対する現状